

ひびき通信

平成 25 年
8 月版

生活リハビリ式 入浴セミナー

生活リハビリ式の入浴介助を体得するための「こだわりの入浴セミナー」が九月二十九日、当センターにて開催されます。実際にお湯を張ったお風呂に入り、介助される側、介助する側を体験する実学セミナーです。定員は十五名。受講料は三千元。

9月29日
開催

スライド上映や昼食の試食会で意見を交換

デイサービス響の家族会がこのほど、当センターで開催されました。この家族会は、普段あまり接する機会のないご家族同士の懇親を深めるのとあわせて、デイサービスの日頃の活動や、ご利用者の様子を知ってもらうことを目的に開催しています。

ご家族同士、職員とも交流深める

「自宅ではみせない笑顔ですね」
「今年の家族会には、ご利用者の妻や夫をはじめ息子さんや娘さんたち十六名が参加されました。主任のあいさつ、スタッフの自己紹介のあと、普段の様子を撮影したスライドを上映しました。参加されたご家族の方は、マジャン、トランプなどのゲームや折り紙や編み物などのレクリエーションに生き活きと

イルカがジャンプ 夏の海原が出現

グループホーム響 ちぎり絵の大作完成

グループホーム響の階段踊り場に夏の飾り付けが完成しました。イルカがジャンプし、カニさんが戯れる真夏の海が、ちぎり絵で見事に表現されています。横幅二メートルにもなる大作。入居者みんなで金色や銀色の折り紙を貼り付けた労作に、訪れるご家族も、思わず見とれています。



デイサービス響で「家族会」

ご家族の方 16 名が参加



響の昼食を試食するご家族の方々

「食べる」行為の基礎知識

摂食と嚥下障害セミナー



山本弘子さん

プリンや柿の種を使い嚥下訓練も体験

30人が参加した摂食と嚥下障害セミナー

最新まで自分の口から、美しく、食べるための「摂食と嚥下障害セミナー」がこのほど当センターで開催されました。講師は、東京都府中療育センター

で言語聴覚士を担当している山本弘子さん。介護職の方など三十名が参加しました。セミナーでは、「摂食・嚥下」行動の神経作用や嚥下器官のは

たらき、嚥下時の具体的な食塊の流れなど、基本的な知識について説明があったと、参加者たちは、プリンや柿の種を食べながら嚥下障害を確認するスクリー

ニングテストを体験。さらに、障害の状況に応じた口腔ケアや訓練法についても学びました。

むせ込んだ際の対処法を学ぶ受講者のみなさん



も生産者と契約した食材を使用するなど、鮮度や味にこだわった食を提供しています。
この日の試食会メニューは、いわしの香草焼きに肉団子、鳥から揚げ、しいたけと高野豆腐の煮物、ナスとトマトのマリネにメロンのデザート。試食したご家族からは「ご飯がおいしい」「野菜の種類が豊富で新鮮。味もよかったです」。バイキング形式だったこともあり、二度三度とおかわりされる方もいるなど上々の評価をいただきました。
このあと、看護師から熱中症についての話を聞いたり、スタッフも加わり、ご自宅での様子やお互いの悩みを話し合うなど、交流の和を広げました。